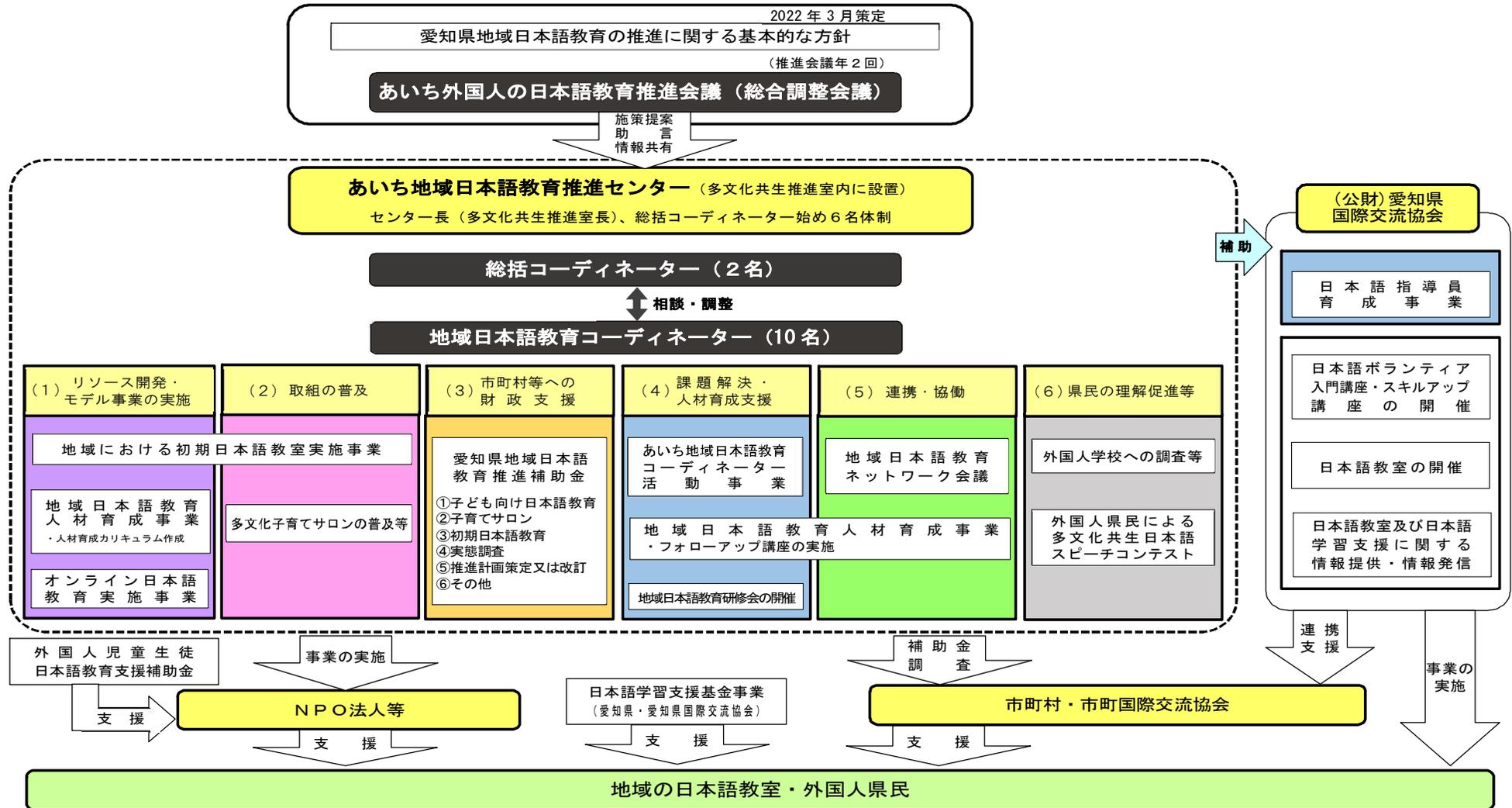




あいち地域日本語教育推進センター
2025年度事業の取組状況について

愛知県多文化共生推進室

あいち地域日本語教育推進センターを中心とした 日本語教育の推進に係る実施体制図



※(1)～(6)は、「愛知県地域日本語教育の推進に関する基本的な方針」における施策の方向性の柱

2025年度事業実績

0 実施体制

- ① あいち地域日本語教育推進センターの運営 . . . P 3
- ② 総括コーディネーターの配置 . . . P 4
- ③ あいち地域日本語教育コーディネーターの配置 . . . P 4
- ④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催 . . . P 4

I リソース開発・モデル事業

- ⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業 . . . P 6
- ⑥ あいち地域日本語教育指導者向け教材作成事業 . . . P 10
- ⑦ オンライン日本語教室実施事業 . . . P 11

II 取組の普及

- ⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業 . . . P 6
- ⑧ 多文化子育てサロンの普及 . . . P 12

III 財政支援

- ⑨ 愛知県地域日本語教育推進補助金 . . . P13

IV-1 課題解決・人材育成支援

- ⑩ あいち地域日本語教育コーディネーター活動等事業 . . . P15
 - ・ あいち地域日本語教育派遣事業
 - ・ あいち地域日本語教育コーディネーター意見交換会

IV 連携・協働

- ⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催 . . . P17
- ⑫ 地域日本語教育研修会 . . . P18

V その他

- ⑬ 多文化共生日本語スピーチコンテスト . . . P19

IV-2 課題解決・人材育成支援

- ⑭ 日本語指導員育成事業 . . . P20

① あいち地域日本語教育推進センターの運営

- 目的 地域日本語教育関係者との連携を図り、愛知県内の地域日本語教育の支援等を行うことにより、地域日本語教育の体制づくりを行うこと。（愛知県多文化共生推進室内に設置）
- 構成 6名（センター長：愛知県多文化共生推進室長、副センター長：同室主査1名、総括コーディネーター：2名 事務担当者：2名）
- 主な業務 地域日本語教育に関する支援、関係者の連携に関する相談・支援、人材育成に関する支援等



〈開設式〉2020年4月3日

② 総括コーディネーターの配置

11,406千円（10,649千円）

- 概要 地域日本語教育の専門的な知識に基づき、本県の地域日本語教育の司令塔的な役割を果たし、関係者の調整、広報活動等を実施。
- 配置人数 2名（松村 月音 氏、村田 竜樹 氏）
- 任用 2025年4月1日付で任用。任用期間は、2026年3月31日まで。（2024年度から新規採用）
公募手続を経て、地方公務員法第22条の3に規定される「臨時的任用職員」として、県が直接任用。
- 主な業務
あいち地域日本語教育推進センターが実施する事業の企画・立案、関係者との調整、事業遂行に伴う課題整理、現状分析等。市町村担当者や、日本語教育関係者からの相談・問合せ等に対して助言。
 - ・ あいち地域日本語教育コーディネーター派遣事業に係る業務
 - ・ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催に係る業務
 - ・ 地域における初期日本語教育モデル事業に係る業務
 - ・ 地域日本語教育研修会の開催に係る業務

③ あいち地域日本語教育コーディネーターの配置

○ 概要

- ・ 総括コーディネーターとともに、地域や外国人の特性等に対応した教育プログラムを構想し、県内の地域日本語教育関係者への情報提供・助言を実施。
- ・ 学識者、NPO法人代表、国際交流協会職員等、高い専門性や長年の活動実績を持つものの中から、県から委嘱。

[2025年度あいち地域日本語教育コーディネーター10名（敬称略）]

| | 氏名 | 所属・職名 | | 氏名 | 所属・職名 | | 氏名 | 所属・職名 |
|---|--------|--------------------|---|-------|------------------------------|----|-------|-------------------|
| 1 | 伊東 浄江 | NPO法人トルシーダ・代表 | 5 | 清水きよ恵 | 一般社団法人オクシモロンズ・代表理事 | 9 | 松本 里美 | NPO法人シェイクハンズ・代表理事 |
| 2 | 大橋 晴奈 | ホツマインターナショナルスクール | 6 | 鈴木 勝代 | ことばの会・代表 | 10 | 横山りえこ | 愛知大学・非常勤講師 |
| 3 | 河村 八千子 | NPO法人フロンティアとよはし・代表 | 7 | 得永 美穂 | とよた日本語学習支援システム・プログラムコーディネーター | | | |
| 4 | 酒井 美賀 | 東海日本語ネットワーク・代表 | 8 | 長尾 晴香 | 一般社団法人ViVarsity・代表理事 | | | |

④ あいち外国人の日本語教育推進会議の開催

443千円（443千円）

- 設置目的 あいち地域日本語教育推進センターの運営方針及び事業内容の検討等
- 開催回数 あいち外国人の日本語教育推進会議 年2回（①8/28、②3月を予定）
- 協議事項 （1）あいち地域日本語教育推進センターが行う事業に関すること。
（2）その他、地域日本語教育の体制づくりに必要な事項に関すること。
- 構成員 16名（学識者、民間日本語教育機関、中間支援団体、日本語教室、企業関係、教育関係、市町村、市町村国際交流協会等）

あいち地域日本語教育推進センター 会議体系図

あいち外国人の日本語教育推進会議（総合調整会議）

【構成員】16名 学識者、日本語教師養成機関、中間支援組織、あいち地域日本語教育コーディネーター、外国人県民、経済団体、（公財）愛知県国際交流協会、市町村、愛知県、愛知県教育委員会

個別事業

地域における初期日本語教育モデル事業

- ・初期日本語教室
- ・指導者養成講座
- ・フォローアップ講座

地域日本語教育 人材育成カリキュラム検討事業 （R7年度：あいち地域日本語教育指導者向け教材作成業務）

オンライン日本語教室

愛知県地域日本語教育推進補助金

初期日本語教育連絡調整会議

【構成員】8名

学識者、日本語教師養成機関、あいち地域日本語教育コーディネーター、市町村、（公財）愛知県国際交流協会、愛知県（初期日本語教育事業（初期日本語教育モデル事業、人材育成カリキュラム検討事業、オンライン日本語教室の進捗状況等を相互に連絡・調整）

⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業

9,419千円 (15,089千円)

○ 目的

専門機関の協力を得て、地域の日本語教室等と連携し、日本語がまったく分からないか、ほとんど分からない外国人県民を対象とした初期日本語教室をモデル的に開催するとともに、初期日本語教育の指導者を養成する。

(2018年度から実施)

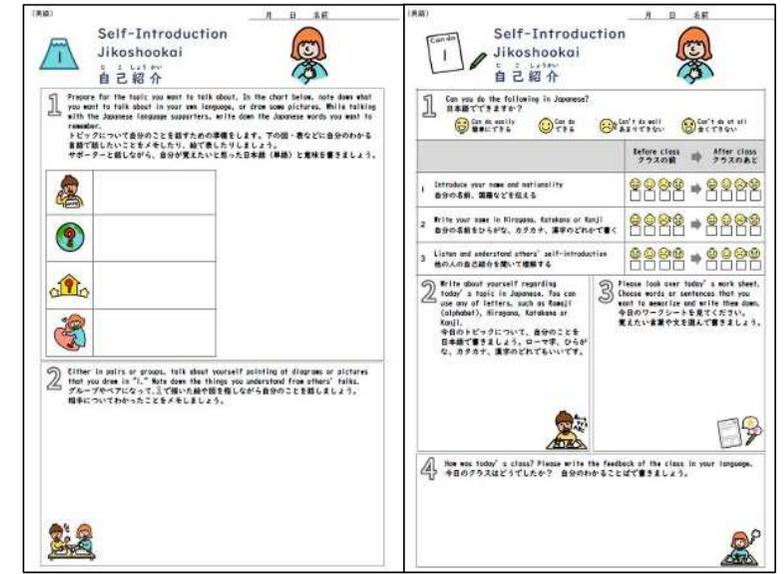
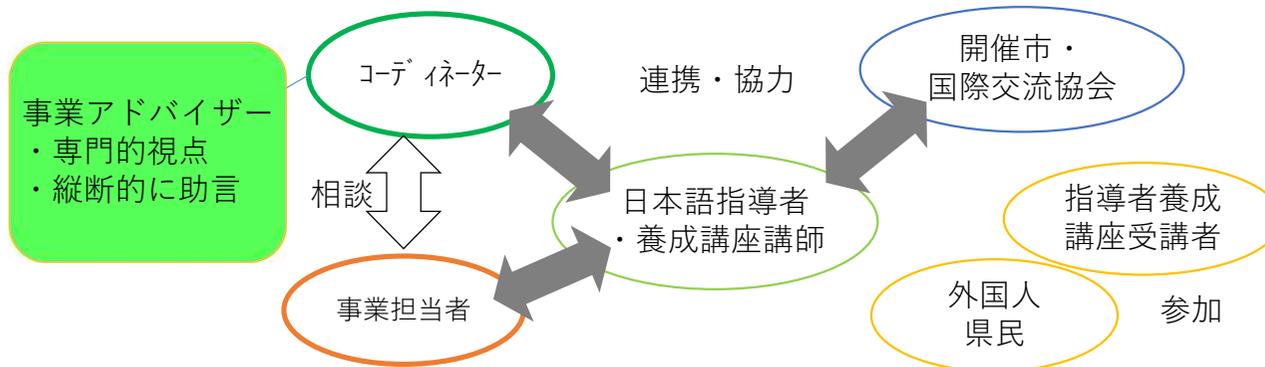
○ 実施体制

- ・コーディネーター：各地域で事業全体のコーディネートを行うため配置 (3名)

○ 概要

- (1) 地域における初期日本語教室のモデル開催
- (2-1) 「地域における初期日本語教育」のための指導者養成講座の実施
- (2-2) フォローアップ講座の実施

[教室実施のイメージ図]



[2019年度作成教材「はじめての日本語」]

⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業

9,419千円（15,089千円）

■実施場所：2か所（8年目のモデル実施となる。2024年度中に開催市を募集の上で選定。）

①東海市（直営）

(1)初期日本語教室

【第1期】

- ・会場：東海市立緑陽コミュニティセンター
- ・実施期間：2025年8月30日～11月1日 毎週土曜日 13:30～16:00（全8回）※8月30日と11月1日は13:30～16:30
- ・申込者数：20名（8月20日時点）

【第2期】

- ・会場：東海市立緑陽コミュニティセンター
- ・実施期間：2025年11月22日～2026年1月31日 毎週土曜日 13:30～16:00（全8回）
※11月22日と1月31日は13:30～16:30

(2-1)指導者養成講座（計30時間）

- ・実施期間：2025年8月2日（土）～2026年2月7日（土）全11回
- ・申込者数：37名 ・受講者数：26名



⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業

9,419千円（15,089千円）

■実施場所：2か所（8年目のモデル実施となる。2024年度中に開催市を募集の上で選定。）

① 碧南市

(1) 初期日本語教室

・会場：碧南市役所

【第1期】

・実施期間：2025年9月20日～11月15日 毎週土曜日 14:00～16:30（全8回）

・申込者数：26名（8月20日時点）

【第2期】

・実施期間：2025年12月7日～2026年2月15日 毎週土曜日 14:00～16:30（全8回）

(2-1) 指導者養成講座（計30時間）

・実施期間：2025年8月23日（土）～2026年2月22日（土）全13回

・申込者数：19名

・会場：碧南市役所



⑤ 地域における初期日本語教育モデル事業

9,419千円（15,089千円）

(2-2)フォローアップ講座の実施

- 目的
県内で初期日本語教育を実践する者のスキルアップ及び意見交換の場を設け、取組みの質の維持・向上を図る。
- 講座概要
2025年度は、初期日本語教育を開催している市町村のコーディネーター、指導者、指導者養成講座の過年度受講者向けに、11月～3月の期間に計4回開催する。
- 参考 <2024年度実績>

| 対象 | | 開催日時 | 講師 | 受講者 |
|----------------------|-----|----------------------------------|--|-----|
| (1)コーディネーター向け講座 | 第1回 | 2024年11月9日（土） 午前10時～正午 | 愛知淑徳大学 鈴木崇夫氏 | 3名 |
| | 第2回 | 2025年2月11日（火） 午前10時～正午 | | 4名 |
| (2)指導者向け講座 | 第1回 | 2024年11月7日（木） 午後1時～午後3時 | 刈谷市国際交流協会 刈谷初期日本語教育コーディネーター 岡部真理子氏 | 6名 |
| | 第2回 | 2025年2月13日（木） 午後1時30分～午後3時30分 | | 6名 |
| (3)過年度指導者養成講座受講者向け講座 | | 2025年3月22日（土） 午前10時～正午 | 愛知県地域日本語教育総括コーディネーター 松村月音、村田竜樹 | 26名 |

⑥あいち地域日本語教育指導者向け教材作成事業

4,706千円（1,815千円）

- 内 容：2023年に作成した育成カリキュラム案をもとに、地域における初期日本語教室の「指導者」を育成するための教材作成を行う
- 検討会議
 - ・委員：5名（日本語教育有識者、あいち地域日本語教育コーディネーター等）
 - ・会議回数：10回程度
- 進捗状況
 - ・2022年度に、初期日本語教育に関わる人材を4階層（日本語サポーター、指導者・補助者、コースコーディネーター、地域日本語教育コーディネーター）に分け、2023年度にそのうちの「指導者・補助者」の養成のためのカリキュラム案を作成した。
 - ・会議開催
 - 第1回 6月26日、第2回 7月14日、第3回 8月18日
 - （今後の予定）第4回 9月8日、第5回 10月6日、第6回 10月27日、第7回 11月17日、第8回 12月12日、第9回 1月19日、第10回 2月16日

⑦ オンライン日本語教室実施事業

6,410千円（6,828千円）

○目的：ほとんど日本語が分からない段階で日本語学習を希望するが、近くに教室がない等の理由で地域の日本語教室に通うことができない外国人県民に対して、オンラインで日本語学習機会を提供する。

○対象：ほとんど日本語が分からない段階で、地域の日本語教室に通うことができない外国人県民

○内容：日常生活に密着した学習内容を取り上げ、前期・後期の2コース開催

○開催回数：前期 2時間×9回（週1回／コース）

後期 2時間×9回（週1回／コース）

○実施状況

| コース | 実施期間 | 回数 | 申込者数 | 受講者数 |
|-----|--------------------------|------------|------|------|
| 前期 | 9月2日～10月28日 毎週火曜日 | 9回 各2時間 | 受付中 | 受付中 |
| 後期 | 12月2日～2月3日 (予定) 毎週火曜日 | 9回 各2時間 | — | — |



II 取組の普及

⑧ 多文化子育てサロンの普及

84千円（84千円）

○ 目的

外国人親子と日本人親子が交流を楽しむ活動を通じて、子育て世代の外国人保護者に対して、乳幼児期の言語習得に大切なポイントや日本における育児に関する情報を提供し、日本語能力の育成と子育ての不安解消を図る「多文化子育てサロン」の市町村における普及を推進する。

○ 概要

普及説明会の実施

- ・対象者：市町村職員、市町村国際交流協会職員、保育士、保健師など

< 2025年度 >

2025年12月頃実施予定

< 2024年度 >

- ・日時：2025年2月13日(木)9:30～11:40
- ・実施方法：オンライン（ZOOM）
- ・内容：講演、事例報告
講演講師：愛知産業大学短期大学 教授 川崎直子氏
事例報告：特定非営利活動法人シェイクハンズ、特定非営利活動法人みらい
- ・参加者数：45名



III 財政支援

⑨ 愛知県地域日本語教育推進補助金

30,999千円 (19,907千円)

○ 目的

日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくり等を行う事業に対して、必要とする経費の一部を補助することにより、「生活者としての外国人」の日本語学習機会の確保を図る。

○ 概要

- ・ 交付先 市町村及び市町村国際交流協会等
- ・ 補助率 補助対象経費の2分の1以内

補助対象事業の種別（※複数を組み合わせて実施することも可。）

①初期日本語教育事業

- ・ ほとんど日本語がわからない段階の外国人県民に対して行う日本語教室を実施するもの。
- ・ 地域の日本語教室で受け入れる前段階として、日本語教育の専門家、県が主催する「初期日本語教育向け指導者養成講座」修了者、又はそれに相当する者の協力を得て、対話型の日本語教室を実施するもの。
- ・ 事業の企画・実施にあたっては、県作成の学習教材「地域における初期日本語教育モデル事業『はじめての日本語教室』」を活用して行うことが望ましい。
- ・ 初期日本語教室の修了者が、地域の日本語教室等において日本語学習を継続できるよう、地域の日本語教室との連携を図ること。

②その他の日本語教育事業

上記①以外の大人向けの日本語教育を実施するもの。

③子ども向け日本語教育事業

- ※進学・就学を目的とした取組である「プレスクール」、「プレクラス」、「日本語初期指導教室」は、補助対象外
- ・ 外国人の子どもに対して、日本における生活にスムーズに適応できることを目指し、必要な日本語を学ぶために初期の日本語教育を実施するもの。

④多文化子育てサロン事業

- ・ 外国人親子及び日本人親子が親子で楽しめる企画を実施するとともに、保護者に対し、乳幼児期における言語習得に大切なポイントなどを多言語で伝えながら、日本語能力の育成も図ることにより、日本で不安や孤独を感じることなく楽しく安心して子育てをすることをねらいとした集まりが、地域に拠点化する取組を実施するもの。
- ・ 事業の企画・実施にあたっては、県作成の「多文化子育てサークル」実施マニュアル「あいち多文化子育てブック～あいちで子育てする外国人のみなさまへ～」を参考にすること。

⑤地域の実態調査

- ・ 外国人等の現況、市区町村の体制や日本語教育の取組状況、地域コミュニティと外国人との関係、地域の日本語教育ニーズ、地域の日本語教育の課題等を調査するもの。

⑥地域日本語教育の推進計画策定又は改訂

- ・ 地域の日本語教育の実施に関する推進計画を策定する。推進計画には、各地域の外国人等の状況、学習ニーズ、リソース等を踏まえ「生活者としての外国人」に対する具体的な日本語教育の施策が含まなければならない。

⑦その他

- ・ 上記①～⑥以外の取組で、文科省「令和7年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 募集案内」の「6. 補助対象事業」に掲げる取組に該当する取組であること。

III 財政支援

⑨ 愛知県地域日本語教育推進補助金

27,506千円 (30,999千円)

補助対象経費59,237千円、国庫補助額20,461千円 (2025年3月31日時点) 19市町、5交流協会

| | 市町村名 | 初期日本語 | その他日本語 | 子ども向け日本語 | 子育てサロン | その他 | 交付決定額(千円) | | 市町村名 | 初期日本語 | その他日本語 | 子ども向け日本語 | 子育てサロン | その他 | 交付決定額(千円) |
|----|------|-------|--------|----------|--------|-----|-----------|---|-----------------|-------|--------|----------|--------|-----|-----------|
| 1 | 豊橋市 | ○ | | | | | 1,488 | 16 | 弥富市 | ○ | | | | | 249 |
| 2 | 半田市 | ○ | | | | | 571 | 17 | 東郷町 | | ○ | ○ | | | 225 |
| 3 | 春日井市 | ○ | | ○ | | | 827 | 18 | 東浦町 | | ○ | ○ | | | 260 |
| 4 | 豊田市 | ○ | | ○ | ○ | | 5,431 | 19 | 幸田町 | | | ○ | | | 182 |
| 5 | 安城市 | | | | ○ | | 223 | 20 | 岡崎市 国際交流協会 | | | ○ | | | 184 |
| 6 | 蒲郡市 | ○ | ○ | | | | 658 | 21 | 刈谷市 国際交流協会 | ○ | | | | | 214 |
| 7 | 常滑市 | ○ | | | | | 194 | 22 | 大府市 国際交流協会 | | | | ○ | | 141 |
| 8 | 江南市 | ○ | | | | | 1,094 | 23 | 知立市 国際交流協会 | | ○ | | | | 56 |
| 9 | 新城市 | ○ | ○ | | ○ | | 298 | 24 | 北名古屋市 国際交流協会 | | ○ | ○ | | | 1,979 |
| 10 | 大府市 | | | | | ○ | 27 | ※令和7年度予算額案における文科省の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の補助金総額を上回る申請があったことにより、応募時の補助対象経費に調整を加えた額(愛知県は74.4%を乗じた額)が国庫補助内定額として通知されたことから、県内の各申請団体についても、一律応募時の国庫補助額に74.4%を乗じた額を国庫補助内定額として通知。その後、同額で交付決定済み。 ※その他：大府市(日本語学習支援者研修)、知立市(やさしい日本語講座) | | | | | | | |
| 11 | 知立市 | ○ | | | ○ | ○ | 2,388 | | | | | | | | |
| 12 | 尾張旭市 | ○ | | | | | 199 | | | | | | | | |
| 13 | 高浜市 | ○ | | ○ | | | 1,594 | | | | | | | | |
| 14 | 岩倉市 | ○ | | | | | 223 | | | | | | | | |
| 15 | 田原市 | ○ | | | | | 1,756 | | | | | | | | |

IV-1 課題解決・人材育成支援

⑩ あいち地域日本語教育コーディネーター活動等事業 3,938千円 (4,122千円)

○ 目的

あいち地域日本語教育コーディネーターの派遣により、県内市町村や県内市町村国際交流協会などが日本語教室の設置・運営等について抱える課題に対し相談・助言を行うことで、地域の日本語教育の推進を図る。

○ 概要

- ・派遣先 : 依頼のあった地域の日本語教室、NPO法人、市町村、市町村国際交流協会等
- ・派遣回数 : 1団体あたり2回まで(1回あたり3時間程度)

○実施期間

- ・2025年7月7日(月)～2026年1月30日(金)

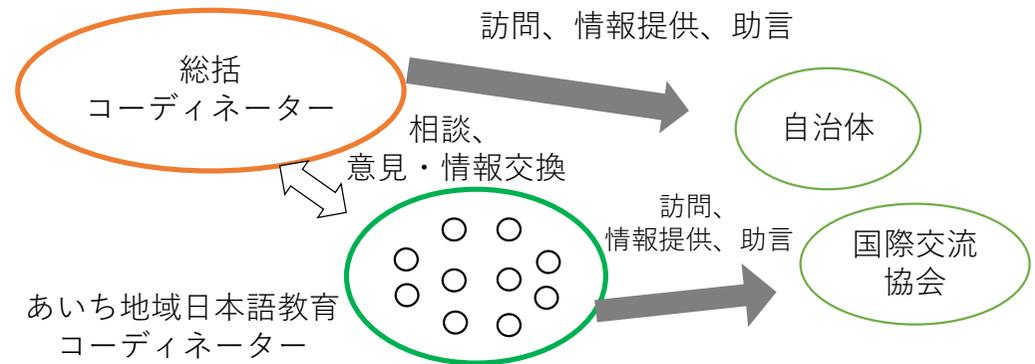
○あいち地域日本語教育コーディネーター意見交換会

- ・回数 : 3回 (①4/23 2回目以降未定)
- ・対象者 : 地域日本語教育コーディネーター 10名
- ・内容 : 派遣事業の実施状況、地域日本語教室の現状等

○あいち地域日本語教育推進事業担当者会議

- ・回数 : 2回 (①8/4、2回目以降未定)
- ・対象者 : 市町村及び市町村国際交流協会担当者
- ・内容 : 派遣事業事例紹介、グループワーク等

[派遣のイメージ図]



IV-1 課題解決・人材育成支援

⑩ あいち地域日本語教育コーディネーター活動等事業

3,938千円（4,122千円）

・派遣先：7団体 ・派遣回数：9回 ・延べ派遣人数：18名（2024年度実績）

| No | 依頼元 | 担当コーディネーター | 主な相談内容 |
|----|---------------|------------|---------------------|
| 1 | 蒲郡市国際交流協会 | 河村氏、長尾氏 | 協会や大学との連携 |
| 2 | 新城市 | 得永氏、長尾氏 | 初期日本語教育の運営、人材育成 |
| 3 | 東浦町 | 伊東氏、鈴木氏 | 初期日本語教育の体制整備 |
| 4 | 知多市 | 千葉氏、長尾氏 | 学習者の継続、教室の運営 |
| 5 | 東海市 | 河村氏、千葉氏 | 初期日本語教育の体制整備、企業との連携 |
| 6 | 蒲郡市国際交流協会（2回） | 河村氏、長尾氏 | ボランティアの育成 |
| 7 | 豊橋市国際交流協会 | 得永氏、酒井氏 | 新・旧ボランティア間における教室活動 |
| 8 | 東海市国際交流協会 | 河村氏、鈴木氏 | 参加者の定着、教室の運営 |
| 9 | 新城市（2回） | 酒井氏、長尾氏 | 学習者の選定基準、ボランティア役割分担 |

・2025年度

| No | 依頼元 | 担当コーディネーター | 主な相談内容 |
|----|---------------|------------|------------------|
| 1 | 西尾市 | 伊東氏、得永氏 | 多文化共生推進プラン策定について |
| 2 | 犬山市国際交流協会（予定） | 調整中 | 初期日本語教室の運営について |

V 連携・協働

⑪ あいち地域日本語教育ネットワーク会議の開催

301千円（366千円）

○ 目的

地域における日本語教育に関わる様々な機関・団体・個人が、各々の役割を果たしながら連携・協働するため、地域における日本語教育に関する取組や課題などについて情報共有や意見交換を行う。

○ 会議概要

構成員：学識者、民間日本語教育機関、市町村、国際交流協会等

開催回数：2回、地域の日本語教育に関して、2つのテーマを設定する

<2025年度の開催計画>

第1回 10月頃（予定）

第2回 12月頃（予定）

<2024年度の開催実績>

開催回数：3回

2024年11月15日（金） 内容：日本語教育機関と行政の連携

2024年12月 4日（水） 内容：子ども向け日本語教育支援のあり方

2024年2月 6日（木） 内容：自治体が行う地域日本語教育事業

V 連携・協働

⑫ 地域日本語教育研修会

45千円（45千円）

- 目的
市町村職員、市町国際交流協会職員向けに、基本方針の普及や地域日本語教育の体制整備を推進するための研修会を開催する。
- 概要
 - ・回数：年2回
 - ・場所：オンライン
 - ・対象者：市町村職員、市町国際交流協会職員

| | 開催日 | 講師・概要 | 参加者 |
|---|-------|--|-----------------------|
| 1 | 5月23日 | 1 あいち地域日本語教育推進センターの役割と取組みについて (愛知県多文化共生推進室) 2 研修「自治体が行うべき地域日本語教育」 (愛知淑徳大学 ダイバーシティ共生センター 教授 鈴木崇夫氏) | 34名 (32市町村・国際交流協会) |
| 2 | 7月23日 | 1 あいち地域日本語教育推進センターの役割と取組みについて (愛知県多文化共生推進室) 2 研修「自治体における地域日本語教育事業の立案、実施、評価」 (愛知県立大学 講師 千葉月香氏) | 34名 (30市町村・国際交流協会) |

⑬ 多文化共生日本語スピーチコンテスト

655千円（659千円）

○ 目的

外国人児童生徒を始めとする外国人県民が、自分の思いや考えを日本語で伝えようとする意識の高揚を図るとともに、多文化共生に対する理解の促進を図る。（2015年度から実施）

○ 概要

- ・ 応募資格 愛知県内の学校等に在学する者又は愛知県内に在住する者のうち、次の(1)及び(2)を満たす者。
(1)母語が日本語以外の者 (2)小学1年生（に相当する年齢）以上の者。
- ・ 部門 「小学生の部」、「中学生・高校生の部」、「一般の部」
- ・ 審査 一次審査：スピーチ原稿により審査、コンテスト本選：本選出場者によるスピーチ

○ 2025年度実施結果

- ・ 応募者：314名（小学生の部44名、中学生・高校生の部37名、一般の部233名）
- ・ 一次審査：スピーチ原稿により審査し、20名を選考
- ・ コンテスト本選

開催日：2025年8月23日(土)

概要：本選出場者20名によるスピーチ

（小学生の部7名、中学生・高校生の部6名、一般の部7名）

「最優秀賞」計3名、「優秀賞」計3名、「特別賞」計4名、

「奨励賞」その他のコンテスト本選出場者



⑭ 日本語指導員育成事業

1,884千円 (1,524千円)

a. ボランティア向け講座の開催

新たにボランティアとして活動したい県民を対象とした入門講座や、現在活動しているボランティア向けのスキルアップ講座を実施。

| | 瀬戸市 (入門講座) | 名古屋市 (スキルアップ講座) | 刈谷市 (スキルアップ講座) |
|-----|-----------------------------------|-----------------|-----------------|
| 日にち | ①11月1日 (土)、②11月8日 (土)、③12月20日 (土) | 令和7年秋 (予定) | 未定 |
| 場 所 | パーティセと (瀬戸市栄町) | 愛知県三の丸庁舎 (予定) | 刈谷市民交流センター (予定) |

b. 企業人材と日本語教室とのマッチング

愛知県経営者協会・(一社) 中部経済連合会・名古屋商工会議所・愛知県と共催で、地元の企業人材が日本語教室でボランティアとして活動することを目的に実施。

| | マッチングイベント |
|-----|---------------------|
| 日にち | 11月8日 (土) |
| 場 所 | 第一生命金山総合ビル (名古屋市中区) |